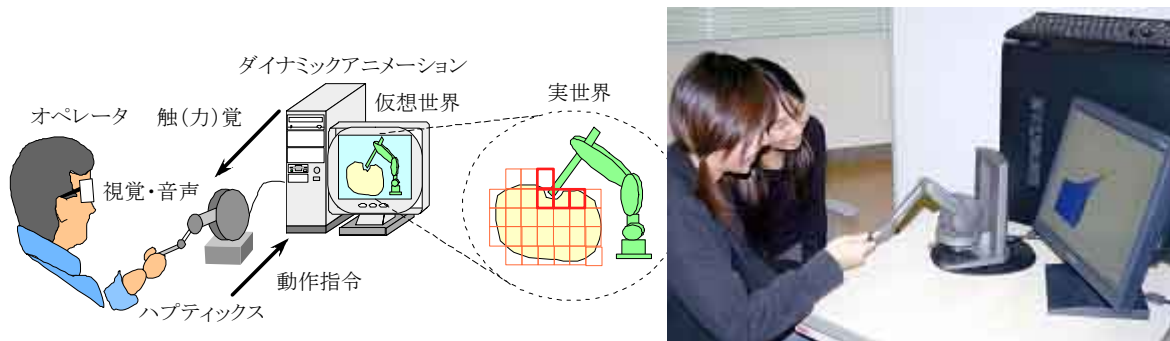


(テーマ名) VRによる仮想世界のリアリティ向上を目指して

(シーズ概要) 本研究の目的は、実世界の物体の振る舞いをより正確にモデル化すると同時に、それをコンピュータグラフィックスやハプティクス(力帰還型ジョイスティック)を介して視覚、音声および触覚で人間に提示することである。すなわち、実世界の自然現象をそのまま体験できる仮想現実感システムを構築するのが、本研究の目的である。一般に自然現象と一口に言っても、それは多様であるので、本研究では、

- (1) 剛体(金属だけでなくプラスチックや木材も含む)
- (2) 粘弾性体(レオロジー物体)

の2つに焦点を当てて、その振る舞いをモデル化・アルゴリズム化し、その入力と出力の間の情報フローを高速計算し、出力である動きと力を視覚・聴覚と触(力)覚として3次元グラフィックスアニメーションとハプティクス(力帰還型ジョイスティック)を介して体感する。



(研究成果の産業への展開例)

3次元CGが作り出す仮想現実(人工現実)世界のリアリティを高めることが目的である。特に、動きと力のリアリティに焦点を当てている。この意味から、ダイナミックアニメーションとハプティクス(触覚フィードバックデバイス)に興味を持っている。

研究者データ

<p>■氏名：登尾 啓史 (のぼりお ひろし)</p>	<p>■ キーワード： バーチャルリアリティ、ロボティクス</p> <p>■ メッセージ： 新技術の開発は結局のところ人による。お互いに熱意のある人を出しあって一緒に研究し、失敗の中から数少ない成功を拾い上げて実用化したい。</p>
<p>■大学：大阪電気通信大学</p>	
<p>■学部：総合情報学部</p>	
<p>■専攻・学科：情報学科</p>	
<p>■職制：教授</p>	
<p>■E-mail：nobori@noblab.osakac.ac.jp</p>	
<p>■URL：http://www.noblab.jp/ja/</p>	

産学官連絡窓口

<p>■大阪電気通信大学 研究支援室</p>	
<p>■住所：〒572-8530 大阪府寝屋川市初町18番8号</p>	
<p>■TEL：072-824-1131(代)、072-820-3827(直)</p>	<p>■FAX：072-820-9012</p>
<p>■E-mail：ken-shien@isc.osakac.ac.jp</p>	
<p>■URL：http://www.osakac.ac.jp/</p>	